

3) 分水堰堤付属橋

- ①建設年代 明治39年(1906年)2月～明治40年(1907年)3月
②施設概要 鉄筋コンクリートアーチ橋
橋長：11.5m、幅：1.2m(通路幅員：0.9m)
③特徴 全国的にも先駆的な鉄筋コンクリートアーチ橋

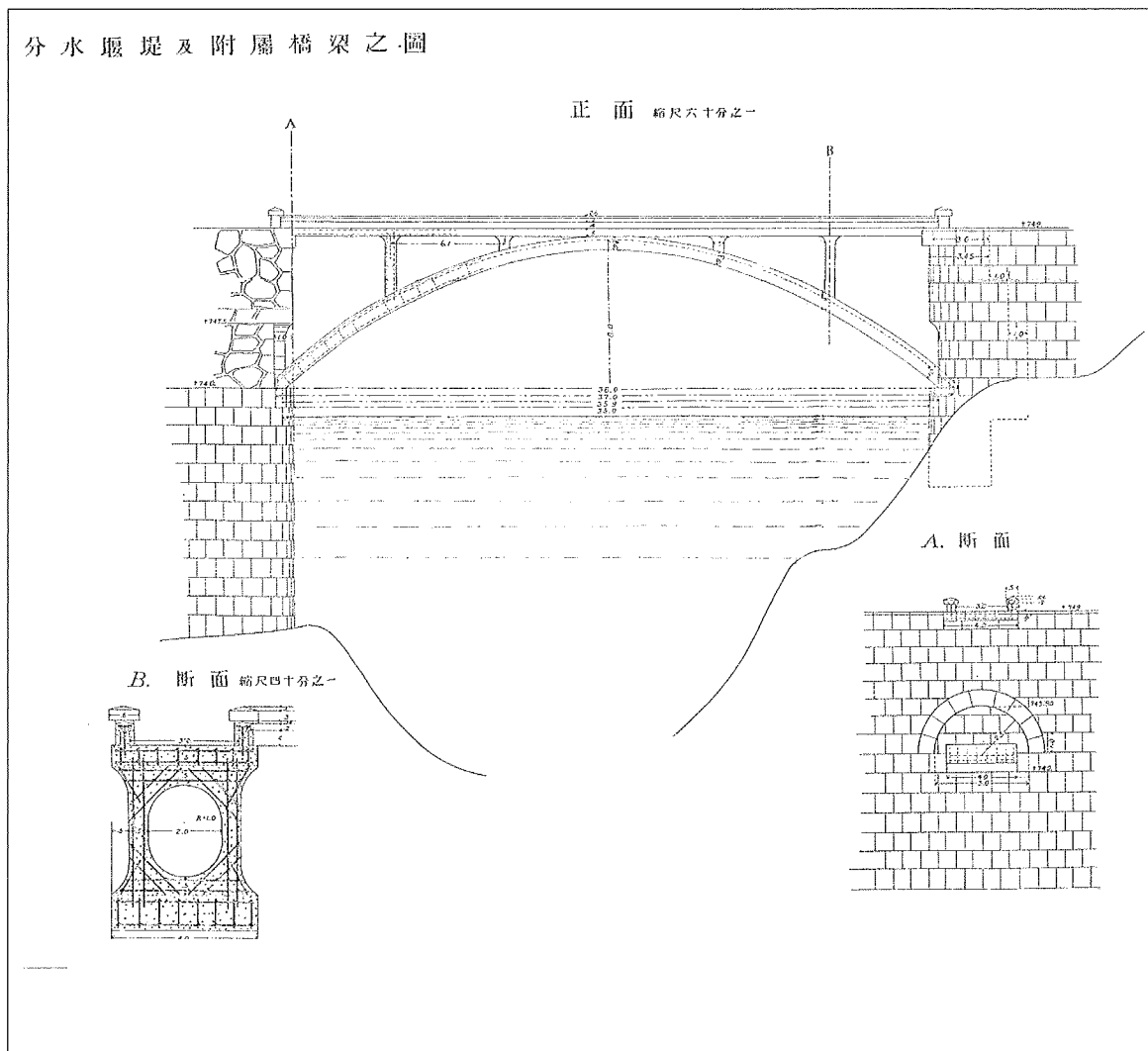


図3-5 分水堰堤付属橋

佐野藤次郎が布引ダムを建設した後に、彼の後を引継いだ水野広之進が設計に関与したと思われる。床版配筋はモニエ式(格子状配筋)となっている先駆的な鉄筋コンクリート橋である(図3-5参照)。

明治39年(1906年)5月に、佐野藤次郎がイギリス土木学会で発表するために作成したと思われる図面が『KCWW』という表示とともに残っている。

【参考】

佐野藤次郎は、明治33年4月から明治38年12月まで水道臨時工事部長をしており、明治36年から岡山水道と神戸水道を兼務していた。その後、明治39年からは朝鮮総督府に配属となっている。